

# いのちの持ち物けんさワークショップ



## ■ワークショップ紹介

「いのちの持ち物けんさ」は、2013年12月に行われた国連UNHCR協会と学生団体SOAR主催の「大学生×難民支援～学生アイデアコンペ～」にて最優秀アイデア賞を受賞した難民支援を身近にするためのワークショップです。

\*SOARとは、国連UNHCR協会のインターン生を中心とする学生団体です。

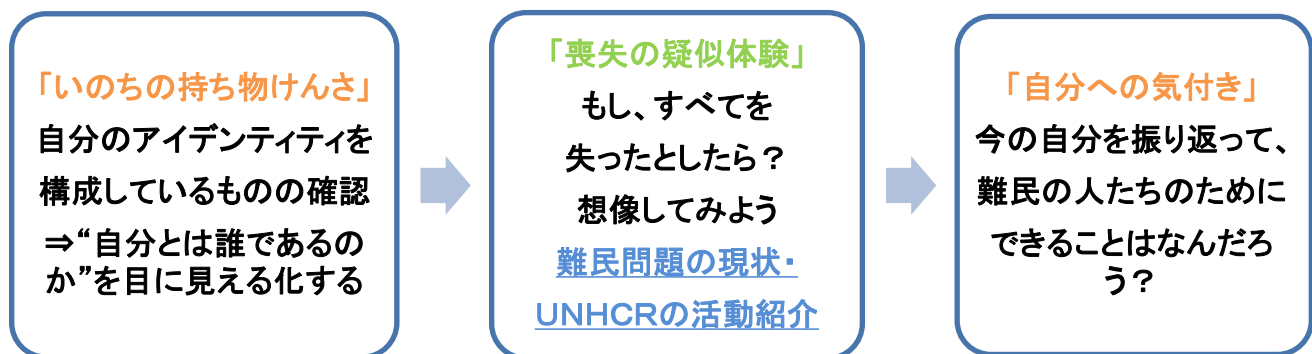
「いのちの持ち物けんさ」は、SOARのプロジェクトの一つとして学生が主体となって進められています。

## ■「いのちの持ち物けんさ」とは？

<自分への気づき>を元にして、難民の人たちの心の痛みに寄り添うために「自分にできることは何か」を考えるきっかけをつくること、また難民について正しく知ってもらうことを目的としたワークショップです。

\*教職員共済だより2014年秋号（発行：教職員共済生活協同組合）で紹介されました。

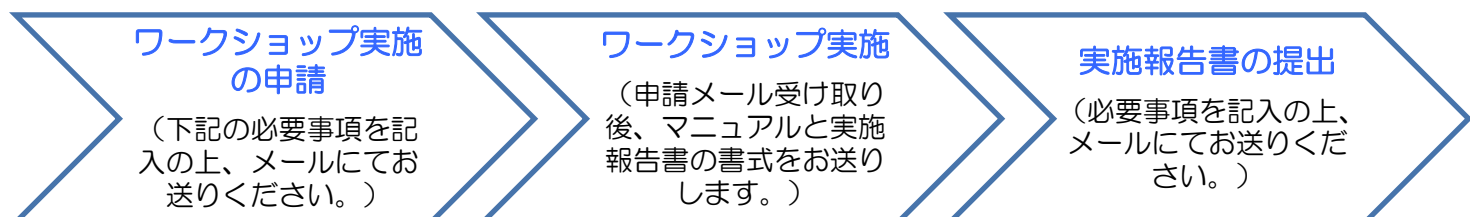
## ■ワークショップの流れ



### 【内容】

自分のアイデンティティを構成するもの（今持っているものや自分を証明するもの）をすべて書き出し3色に分類する。“自分”とは誰であるのかを目に見える化し、喪失の疑似体験を通じて、自分を見つめ直す。その上で、かけがえのないものを失った難民の人たちに、どのような援助が必要とされているのか、自分に出来ることは何かを考える。

## ■ワークショップ実施までの流れ



### \*ワークショップ実施の申請メール記入事項

・組織名/氏名（代表者名）・参加対象者・実施予定日時・参加予定人数・代表者連絡先（E-mail アドレス、電話番号）

\*連絡先：sth4refugees@gmail.com（SOARいのちの持ち物けんさプロジェクト担当）